

日本デザイン学会 第54回研究発表大会 発表概要執筆・作成要領

日本デザイン学会の研究発表大会において研究発表を希望される方は、以下の要項にしたがって発表概要を作成して下さい。

- 1) 発表概要は、聴講者に対して発表内容の理解を促し、有意義な質疑応答を成立させるためのものです。また、来聴できない会員に対して、発表内容をわかりやすく伝える役割も有しています。この主旨にそって、研究の目的、方法、結果、考察、注釈などの項目をたて、当該研究の全体をまとめて下さい。
- 2) 発表概要の体裁は、発表1件につき、A4（縦）用紙2ページです。概要集では見開き掲載、モノクロ出力となります。別紙レイアウト見本を参考に作成し、最終的に1つのPDFデータ（3MB以下）にまとめて下さい。手書き厳禁です。
- 3) 発表概要の題目欄には、レイアウト見本を参考に、研究主題目、副題目、英文題目、氏名、ローマ字氏名、所属を、すべて左揃えで記述して下さい。それぞれの文字サイズは、レイアウト見本に準じます。
- 4) 共同研究の場合、大会時の口頭発表者を筆頭に記して下さい。なお、ローマ字氏名は、姓、名の順に記し、それぞれの第1字のみを大文字とします。研究者の所属が複数ある場合は、「日本 太郎¹⁾」のように氏名の右肩に上付き文字を付すとともに、「1) 日本デザイン学会」のように所属に行頭数字を付し、氏名と所属を対応させて下さい。なお、所属が単数の場合は、上記の上付き文字や行頭数字は必要ありません。
- 5) 発表概要の英文概要（アブストラクト）は、12行（6行×2段組み）以内とし、80 words 前後とします。
- 6) キーワードは英語とします。最大3つまでとし、各キーワードはカンマで区切って下さい。
- 7) 本文には、文字数にして約4,800字程度（左頁28文字×39行×2段、右頁28文字×47行×2段、計4,816字）におさめて下さい。
- 8) 原稿に使用するフォントは、原則として、他のPCでPDFデータを表示した際に、不具合の起きないものを使用して下さい。図表内も同様です。
- 9) 図表は、本文の一部としてあつかいます。ただし、右頁上部には、図表に限り、上部余白（25mm）手前まで掲載しても結構です（レイアウト見本参照）。なお、図の番号ならびに説明はその下に、表の番号ならびに説明はその上に記述して下さい。
- 10) 提出するPDFデータ（3MB以下）はカラー図表を含んでいても構いませんが、モノクロ出力時に不都合が無いよう十分注意して作成して下さい。
- 11) 注釈の記述方法については、デザイン学研究の執筆規定にしたがうこととします。
- 12) その他の詳細に関しては、デザイン学研究の執筆規定にしたがうこととします。以上の要領に準拠しない原稿については、受け付けないことがありますので、十分注意して下さい。

作成：第54回研究発表大会プログラム委員会